

あなたの声を議会に…



No.144

(年4回発行予定)

令和7年8月16日発行

市議会だより



垂水小学校田植え (R7.6.17 田上)

目次

【令和7年第2回定例会】……………	2
常任委員会審査結果……………	5
一般質問……………	7
議案等の審議結果……………	13
令和7年第3回定例会日程案	
編集後記……………	16

発行／垂水市議会
編集／垂水市議会だより編集委員会
鹿児島県垂水市上町114番地
Tel 0994-32-1111 (内線358)
メールアドレス
t_gikai@po.city.tarumizu.kagoshima.jp



垂水市議会
ホームページの入り口

令和7年
第2回定例会

一般会計補正予算 (第1号)(第2号)(案) 可決 一般会計予算総額 147 億 6675 万円

第2回定例会は、5月28日から6月20日まで24日間の会期で開かれ、11件の議案や陳情等が審議されました。

定例会では、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に係る給付事業、道路改良工事等に係る一般会計補正予算(第1号) 1億7088万5千円の増額が賛成多数で可決されました。

また、追加上程されました一般会計補正予算(第2号)では、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を受け、プレミアム付商品券事業等に係る2887万3千円の増額が全会一致で可決されました。

陳情第13号「カリキュラム・オーバード」の改善を求める意見書採択の陳情について、陳情第14号ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情についてはともに採択され、国の関係省庁へ意見書を送付しました。

※審議結果は13ページに掲載

一般質問では10名の議員が登壇し、執行部と論戦を交わしました。

～令和7年度一般会計補正予算(第1号)の主な事業～

空き家リフォーム促進事業補助金

375万円

交付実績が増えていることを考慮し、1件あたりの上限額75万円×5件分を増額するもの

契約保証不明金の補填

285万4千円

契約保証不明金が時効成立となったため、雑部金を補填するもの

一般会計補正予算(第1号) 1億7,088万5千円

学校の在り方検討委員会委員謝金

112万円

学校の在り方検討委員会の委員に委嘱予定の40名に対し、1人あたり4,000円×7回分を計上するもの

堆肥運搬車両の更新

654万5千円

現在所有している4トンドンプにエンジンブロックの亀裂が見つかり、新車登録から20年以上経過しているため、車両購入するもの

2つの特別委員会を新たに設置

錦江湾横断道路推進特別委員会

かごしま新広域道路交通計画に構想路線として位置付けられた錦江湾横断道路の早期事業化に向けて要望していくため、5月28日「錦江湾横断道路推進特別委員会」を設置しました。



錦江湾横断道路推進 特別委員会

委員長	池山 節夫
副委員長	宮迫 隆憲
委員	堀内 貴志
	梅木 勇
	前田 隆
	高橋 理枝子

定数等調査特別委員会

委員長	梅木 勇
副委員長	川畑 三郎
委員	議長を除く11名

定数等調査特別委員会

議会で働く議員の数やその役割を適切に調査し、現状の議員数や報酬及び政務活動費を調査・研究していくため、6月20日「定数等調査特別委員会」を設置しました。



陳情・意見書

第2回定例会では、陳情3件・意見書2件が審査されました。審査結果はすべて6月20日定例会(最終日)に諮ったものです。

陳情第13号

「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の陳情について

陳情内容

学習指導要領の内容を精選し、標準授業時数の削減を求めるもの

総務文教委員会の主な意見

意見 学習指導要領はおおむね10年に1度改定されており、見直しの時期にきていることから採択でよいのではないか。

【審査結果】 採択



陳情第14号

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

陳情内容

教職員定数改善の推進や複式学級の解消などの実現に向けた政府予算編成を求めるもの

【審査結果】 採択



垂水新港緑地帯

陳情第15号

健康増進等に係る環境整備(垂水新港緑地帯)に係る陳情について

陳情内容

垂水新港緑地帯にウォーキング等の健康増進につながる環境の整備を求めるもの

【審査結果】 採択

意見書案第7号

「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書案

趣旨

上記陳情第13号と同じ

【審査結果】 原案可決

【提出先】 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・文部科学大臣

意見書案第8号

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書案

趣旨

上記陳情第14号と同じ

【審査結果】 原案可決

【提出先】 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・文部科学大臣



産業厚生委員会

6月12日に産業厚生委員会が開催され、5月28日及び6月10日の本会議において付託された議案や陳情について審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。また、当日は各事業の状況を確認するため現地視察を実施しました。

令和7年度垂水市一般会計 補正予算（第1号）案

付託内容

委員会所管の事項で訪問給食事業の委託料増額、子育て支援センターの遊具購入、堆肥センターの運搬車両購入、道路維持費の工事請負費についてなどを審査。

主な質疑

問 訪問給食費を800円から850円に上げているが、その積算根拠はどうなっているか。

答 最低賃金の上昇やガソリン代の高騰などにより、総合的に判断して増額となった。

問 子育て支援センターの遊具購入について、どのような遊具を予定しているのか。

答 スロープやトンネル、橋など、複合的な機能を持ち合わせた、色もカラフルな小さい子供向けの遊具を選定している。



問 堆肥センターの車両購入について、中古ダンプを検討している理由を伺う。

答 新車、中古車、リースといった選択肢があるが、納期や費用を考慮して中古車を検討している。

現地視察

当日は付託案件の審査に先立ち、中央地区冠水対策事業と県営漁港整備事業の現地視察を実施した。

【中央地区冠水対策事業】



まず、下宮地区の中央地区冠水対策事業では海岸公園内へ浸透貯留枿を設置し、併せて周辺に比較的大きな側溝を敷設し、浸透貯留枿が一定の水準に達すると、以前整備した都市下水路まで水を導く計画となっており、冠水被害を少なからず軽減できると担当課より説明があった。

問 浸透貯水枿はどれくらい貯めることができるのか。

答 小学校のプール程度は貯めることができる。

【県営漁港整備事業】

現在整備が進んでいる牛根麓漁港を視察し、現在の整備状況や今年度の予算額について担当課より説明があった。

問 完成はいつごろになるのか。

答 現在のところ、令和9年度完成を目標としているが、建築資材の高騰や地盤の硬さなどの影響で、遅延する可能性もある。国・県と連携し、早期工事完了に努めてまいりたい。



総務文教委員会

6月13日に総務文教委員会が開催され、5月28日及び6月10日の本会議において付託された議案や陳情について審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。また、当日は各事業の状況を確認するため現地視察を実施しました。

垂水市税条例の一部を改正する条例案

付託内容

令和7年度税制改正の大綱を受け、地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律等の施行に伴い、条文を整理するもの。

垂水市報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例案

付託内容

選挙の円滑な執行を図るため、国會議員の選挙等の執行について国が負担する経費の基準改定に伴い、本市における選挙長等の報酬額を国の基準に基づき見直しを行うもの。

令和7年度垂水市一般会計補正予算（第1・2号）案

主な質疑

問 空き家リオーム促進事業補助金の増額理由について伺う。

答 令和6年度に上限を75万円に引き上げたことで、交付実績が増えていることを考慮し増額した。

問 学校の在り方検討委員会の協議内容を伺う。子ども達の意見をどう反映させるのか。

答 少子化傾向にある中で、学校の在り方、学校の老朽化に伴う施設整備の2点について協議する。子ども、保護者、地域住民の三者の合意形成が大事となるため、学校を通じて子ども達の意見も反映できるように進めていく。

現地視察

【桜島火山爆発観測施設整備事業】



高峠桜島火山爆発観測施設

国の予算に基づき桜島火山観測施設の三か所目として高峠の一角に桜島火山観測施設が完成したことで、観測を実施する「国立研究開発法人防災科学技術研究所（本部 茨城県つくば市）」の職員を招致して施設の概要について説明を聞きながら視察を実施した。

主な質疑

問 高峠に設置した理由について伺う。

答 海から離れており、電波が届くなど条件に合った場所であり、桜島島内にも同様の観測施設を二か所設置中であるが、大規模噴火等の影響で観測が困難な場合を想定して、この位置（高峠）に選定した。

【テニスコート管理棟改修工事】

中央運動公園内のテニスコートの管理棟改修工事について、令和6年度の予算（事業費総額6199万円）で外壁等改修工事を行っており、完成に伴い視察した。

主な改修工事箇所は、外壁改修・塗装、各室内全面改修、トイレの洋式化と多目的トイレの新設、及び更衣室等の改修、並びに照明設備のLED化。

主な質疑

問 男子更衣室のマークについて伺う。

答 利用者の視点に配慮したユニバーサルデザインを採用している。



テニスコート管理棟

令和7年 第2回定例会

一般質問

10 議員が登場！

市政を問う



第2回定例会において、10名の議員が一般質問を行いました。

※掲載内容については、質問と答弁の要旨を質問者の文責により掲載しています。詳細な内容については、各議員のQRコードから動画を視聴することができますのでご覧ください。



質問者	※質問順	令和7年6月10日
1番	池山 節夫	議員
2番	前田 隆	議員
3番	堀内 貴志	議員
4番	池田 みずす	議員
5番	持留 良一	議員
6番	新原 勇	議員
令和7年6月11日		
7番	川畑 三郎	議員
8番	梅木 勇	議員
9番	高橋 理枝子	議員
10番	感王寺 耕造	議員
	P12	P11
	P11	P10
	P10	P9
	P9	P8
	P8	P7

宇喜多秀家公の大河ドラマ化 実現に向けての取組を



池山 節夫 議員



問 5月15日、岡山市議会から6名の議員が来られて、牛根地域に伝わる歴史を聞き、潜居跡を見学され、「今でも潜居跡がきれいに整備されていることに嬉しく感じた」とコメントされている。私は、平成25年第4回定例会で宇喜多秀家公大河ドラマ実現に向けた取組について一般質問しているが、今回の岡山市議会の動きを受けての対応について伺う。

答 今年度は、大河ドラマ化に向けて、戦国宇喜多家を顕彰する会の皆様様が本格的に活動を展開されていることから、関連イベントが開催される場合は、現地に赴いて、岡山市をはじめ、構成団体と歩調を合わせながら、積極的に大河ドラマの誘致に寄与していきたいと考えている。

公用車のカーナビでの NHK受信料は

NHK受信料は

問 さつま町は公用車に設置しているテレビ放送が受信できるカーナビについて、NHKと必要な契約を結んでおらず、受信料未払いがあったと明らかにした。その後、鹿児島県、

日置市、鹿児島市、薩摩川内市、肝付町、南大隅町、錦江町と広がりを見せている。垂水市での現状を伺う。

答 現在、本庁舎におけるNHKの受信料は総務課で一括管理しており、公用車についても同様に総務課で納付している。令和5年度までの調査では、カーナビのテレビに受信料が発生するということに対して、認識不足があった。この件については、今後、カーナビの設置時期、年度ごとの台数を精査の上、受信料を支払うこととなる見込みである。こちらの試算であるが、本庁・消防分合わせて155万円程度と試算している。

燃やせるごみ袋の代用は可能か

問 今、年金で生活されている方にとっては燃やせるごみ袋の購入も負担になっており、可能ならスーパーマーケットで販売されている安いビニール袋で代用できないかという要望があり、見解を伺う。

答 指定ごみ袋の廃止を行った場合、再資源化率の低下など多くの課題があると考えられる。燃やせるごみ袋は、大・小・特小と3サイズあることから、ごみの量に応じた適切なサイズのごみ袋の利用を推進することで、負担軽減も図られるものと考えている。

【その他の質問】

○小学校の在り方
○中学校の部活動



前田 隆

議員



少子化に伴う学校の在り方は

問 市内全ての学校運営協議会から学校の在り方検討委員会設置が必要との申し出がなされ、開催に向け準備中とのことだが、その位置づけと目的、機能及び教育委員会の関わり方、また、検討委員会後の展開について伺う。

答 垂水市立学校の在り方検討委員会は教育委員会からの諮問を受け、垂水市全体の今後の学校の運営に關し必要な事項を調査及び審議することを目的とし、具体的には少子化傾向にある学校の在り方に関することや学校の施設整備に関することなど、望ましい教育環境の中で、児童生徒が安心して学校生活が送れるよう方向性を審議していただく。

教育委員会の関わり方や検討委員会後は検討委員会から出された答申の方向性を踏まえ、教育委員会会議での審議や新たな委員会の発足など俯瞰的な観点から必要な準備を進めていくことになる。

公営住宅等長寿命化計画の見直しを

見直しを

問 柗原市営住宅の概算工事費と実際の工事費を検証すると、その開きが2倍と大きいとその要因を伺う。また、このような状況から長寿命化計画の見直しが必要だが対応を伺う。

答 建替計画の概算工事費は受託業者が当時の刊行物などを参考に算出したもので、実際の建替工事費は基本設計で配置計画や規模を定め、実施設計の見積りを行うため、計画から実施設計までの数年間で、社会情勢や経済状況の変化により、差が出ているものと考えている。また、柗原団地は省エネ義務化に適合する建物として太陽光発電設備の設置、高断熱、高気密での建設が義務付けられたため、長寿命化計画策定時の概算工事費と実際の工事費に差が出たものである。

計画の見直しについては5年ごとに見直しを行うことにしており、将来的な人口の推計や社会情勢の変化、公営住宅法の改正など考慮しながら、適正な公営住宅の管理戸数と概算工事費の算出など見直しを行っていく。

【その他の質問】

- 基金積立状況と今後の積立予定
- ふるさと応援寄附金の実績と現状
- 児童数の現状と5年後予測数
- 用途廃止の公営住宅について



堀内 貴志

議員



温泉、花のまちの再構築と地元食材を提供する店への支援を

問 垂水市は、かつて「花と温泉と溪谷のまち」と云われ、多くの観光客や市民に親しまれてきた。しかし、温泉施設の閉鎖や減少、まちの中で花を感じられる場の減少により、その面影は薄れつつある。温泉施設の再活性化と花のまちの再構築、年間約680万円の予算を鹿屋市の業者に委託している事業について、例えば市民と連携した花づくりイベントの開催、公園や通学路への花壇整備など、市を挙げた花のある風景の再構築に活かせないか。また、垂水が誇る豊かな食材も市内の飲食店で十分に活用されているとはいえない状況であるが、その支援策について問う。

答 垂水市観光振興計画において温泉を活用した観光振興を盛り込む予定であり、本市の歳入予算における入湯税の有効活用を図り、貴重な地域資源である温泉の再活用に取り組む。花のまちとしての再構築は、市

民全体が我がまちを誇りに思えるような花によるまちづくりを展開していく。本市食材を地元で食する飲食店の活性化については、国や県の動向を注視しながら、必要な施策及び財源確保について所管課に指示していく。

市民館調理室の施設改善整備を

問 市民館調理室は、食生活改善推進協議会や高齢者のクッキング教室、こども食堂等多くの方々が利用されているが、その利用者から「お湯が出ないから冬場の洗い場が大変である。調理台についても衛生面に問題がある」といった声が寄せられている。給湯器の設置、調理台の衛生面の改修など段階的な改善が必要だと思うが、見解を問う。

答 給湯器の設置については、設備機器の設置場所、工法等について検討が必要ことから関係課と協議していく。また調理台についても老朽化し、衛生上の課題があることから、金属製の天板等に交換できないか関係課と検討していく。

【その他の質問】

- Jクレジット制度の導入
- 再犯防止推進計画について
- 自主文化事業について
- パワハラ防止対策について



池田 みすず 議員



クーリングシエルトアの追加指定を

追加指定を

問 クーリングシエルトアについて、新城支所や牛根支所への追加指定の提案に対し、今後の見解を伺う。

答 これまでの垂水市市民館に加え、今回新たに市内8地区公民館を令和7年6月1日に指定した。

小中学校体育館への

空調整備の計画は

問 学校施設の老朽化を迎えている中で、今後の本市の小・中学校体育館の空調設備の整備計画について伺う。

答 活動の場所や種類にかかわらず、全学校に設置された測定装置の指数に基づき、活動の継続または中止の判断を適切に行っているが、本市の小・中学校の体育館には空調設備はなく、大型扇風機等を数台稼働し換気を行っている。



文部科学省において体育館等への空調設備整備促進としての交付金が新設された。当該施設の避難所への指定や断熱性の確保等の要件と電源確保を含めた技術的な精査と予算確保が必要であることから他自治体の動向を注視しつつ、関係課と協議を行っている。

市外に通う児童生徒も

給食費無償化対象に

問 垂水市外に通う児童生徒は15人。家庭の都合で選択されていることは理解できるが、現状、特別支援学校は市外にしかないが見解を伺う。

答 【市長答弁】 今後、事業の更なる拡充を図り、実施に向けた協議を行うように関係課に指示した。



【その他の質問】

○たるみず元気プロジェクト・健康チェック

○男女共同参画の推進

○小中学校における生活習慣病予防対策



持留 良一 議員



核兵器廃絶および恒久平和の実現に向け取り組みめることは

問 広島・長崎に原爆が投下されてから今年で80年が経過しようとしている。被爆者は核兵器の非人道性を訴え、禁止・廃絶を求め続けてこられた。そして、2024年には日本原水禁爆被害者団体協議会（日本被団協）にノーベル平和賞が授与された。今こそ唯一の戦争被爆国である日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准し、核保有国に禁止条約への参加を呼びかける先頭に立つべきと考え、ノーベル平和賞を授与されたことについて市長の見解と、政府は被爆国として核兵器禁止条約に署名・批准し、核保有国に禁止条約への参加を呼びかける必要性があると考えているが見解を伺う。

答 日本被団協が受賞されたことに、心からお祝いを申し上げたい。これまで、多大な努力を積み重ねてきた被爆者の皆様の活動が世界的に認められた結果であると考えている。本市は、安全保障は国家の根幹に関わる国の専管事項であり、国権の最高機関である国会の場で取り扱われるべきであると考えている。

熱中症から市民の命と

健康を守る対策

問 毎年の猛暑から住民の命と健康をどう守るかが引き続き自治体の課題になっている。この夏の気象庁の予想は「猛暑」で、気温は「高い見込み」であると報道され、熱中症が心配されるところである。特に電気代等の負担が年金暮らしの高齢者にとつては困難になってきている。さらに、今年は物価高騰等の影響もあり例年にも増して使用を控える高齢者等が広がる事態が予想される。そんな中、経済的理由からエアコンの設置・購入自体が困難な方も少なくない。さらに、生活保護世帯の一時金扶助でエアコンの購入・設置費用が支給されるのは一部の受給者に限られているなど課題がある。こんな時だからこそ、自治体が住民の命を守るという役割と責任を発揮すべき時だと考える。認識と見解を伺う。

答 エアコン購入に関して一部自治体で購入・設置に助成があることは認識している。鹿児島市が今年度由省エネ家電への買替えについて補助金助成を行うと情報を得ている。県外では、高齢者世帯や障害者手帳を持っている世帯に対し、壊れているという条件で購入助成の補助事業を行っている。今後他市町の状況や実績、市民のニーズ等を確認させていたいただきたいと考えている。



新原 勇

議員



県道72号線（二川・岳野）

早急な拡幅を

問 72号線は大型の通行禁止であり、軽自動車でもすれ違うのに危ない箇所もある。桜島の海底爆発により国道封鎖されたとき、物資や資材搬入の生命線の道路である。防災の観点からも早急な拡幅が急がれるが見解を伺う。

答 道路幅が狭く急カーブが連続し、大型車の運行に支障。牛根上工区の640m区間について、道路を谷側に前出ししての工事に着手。市として、本路線は桜島火山対策として避難体制の強化、地域住民の生活道路として重要であると認識。県には事業の整備促進をお願いしている。



県道72号線拡幅工事現場

住宅取得費助成金交付事業の拡充は

問 市外からの転入者・転入世帯が本市で500万円以上の住宅取得を行った場合交付されるが、市内の中古住宅500万円以下も多く不公平ではないか。購入金額に応じた交付制度を検討する考えはないか。

答 移住定住政策により、少しでも多くの方に住んでいただけるよう、移住や定住希望者の経済的側面からの支援について精査し、前向きに検討する。

人手不足対策にスキマバイト
システムの利用は

問 人口減とともに働き手不足が問題となる。ハローワークやチラシに掲載しても、全く募集がない。今や多様な働き方が求められ、個人のスケジュールや家庭の事情に応じた柔軟な雇用を求める人が増加。民間のスキマバイト産業もあるが、自治体と連携したスキマバイトの信頼性があり評価されているが、垂水市は検討しないのか。

答 担い手不足は行政としても看過できない喫緊の課題。スキマバイトについては、本市の潜在的な労働力の喚起をはじめ、子育て世帯やひとり親世帯の就労支援につながる。現在、他自治体における事例について調査研究を行っており、自治体との連携事例もある（株）タイミーと担当レベルの協議を行っている。



川畑 三郎

議員



農地中間管理機構の状況は

問 農地の貸借契約は、農業経営基盤強化促進法に基づく個人間の契約などであったが、本年4月から農地バンクを通じた契約に一本化された。農地中間管理機構の現在の状況を伺う。

答 令和6年度末の活用状況であるが、本市の耕地面積に対する農地バンクに貸し出された割合は約15%となっている。令和6年4月1日から相続登記の義務化が始まったが、相続未登記となっている農地が多数あり、貸借契約にあたって、所有者側の相続権の過半の同意を得るのに時間を要するなどの課題もある。また、正式に貸借契約が成立するまで最短で4か月程度を要し、耕作者から「時間の短縮ができないか」などの意見も寄せられていることから、本市としては農地バンクや県に対し利用者の声を届けていきたいと考えている。引き続き農業の担い手への農地の収積、集約が一層加速するよう事業推進を図っていく。

協和地区における観光整備は

問 最近では、桜島フェリーを利用する外国人観光客が非常に多いと聞く。協和地区は桜島と接続していて、観光素材があふれていると考えるが、協和地区における観光地の整備状況について伺う。

答 協和地区においては、カンパチ、海の桜勘に代表される食、江洋館を中心として宿泊施設の宿、美肌の湯として親しまれる海潟温泉など、三大人気コンテンツを有している魅力のある観光地であると認識している。協和地区における観光地整備については、鹿児島県の事業である魅力ある観光地整備事業を中心に、さくら公園やホテル公園の整備、護岸道路の着色舗装等を行ってきたところである。令和6年度においては、荒崎パーキングや海潟漁港、にこ展望所の案内板を設置し、垂水市にお越しになったお客様に対して快適かつ安全に観光をお楽しみいただけるように、観光地としての環境整備を行ったところである。

【その他の質問】

- 梅雨等の防災対策
- 海岸の整備
- 事前予約型タクシー
- 漁業振興



梅木 勇

議員



市営市木墓地への

越境木の伐採を早く

問 元垂水の市営市木墓地は、北側隣接地から大木等の樹木が墓の頭上に越境し、台風や暴風等により越境木の枝が折れ、飛散落下し、屋根等が破損する状況から平成30年4月に関係者が越境木伐採を要望されている。令和5年第2回定例会からこれまで2回越境木対応の質問をしてきたが、現地の状況は何ら変わらず遅々とした対応となっており、今回、3回目の質問をし対応を伺う。

答 昨年8月1日、市長立会いによる現地確認が行われ、土地の所有者が伐採することを基本とするが、民法改正による隣接地からの越境木への対応も念頭に市ができることを検討するよう指示を受けた。顧問弁護士からは越境木の所有者を特定するようアドバイスされ、現在、土地の所有者・相続人等の特定までは終了したが、隣接地3筆とも筆界未定でない状況のため、顧問弁護士へ改めて相談し、墓地利用者の不安が早く解決できるよう取り組みたい。

牛根中学校跡地等の

事業計画進展は

問 今年度新規事業として、ローカル10000プロジェクトの地域経済環境創造事業交付金5000万円が予算計上され、地方公共団体が地域の金融機関と連携しながら民間事業者を支援するものとなっているが、事業計画を伺う。

答 事業計画の内容は、旧牛根中学校体育館をアルコール飲料の製造工場へ改修し、旧牛根中央クリニックスは事務所兼小売店舗へ改修する計画で、雇用は10名程度で牛根地区地元住民の方々の雇用を計画している。雇用以外にも、多面的な地域貢献型の新規創業を計画されており、1点目はアルコール飲料製造工程の見学ツアーの実施。2点目は災害等の有事の際に、工場内の空きスペースを地域住民の避難・炊き出しスペースとして開放する計画。3点目は教育機関と連携し、小中高生向けの発酵学に関する課外授業プログラムを開発する計画。4点目はアルコール飲料の原材料栽培を市内の遊休農地を活用し、農地維持に貢献する計画である。

【その他の質問】

- 身体障害者等の軽自動車税減免申請の簡便化を
- 狩猟免許試験時の診断書作成を垂水中央病院で



高橋 理枝子

議員



不登校への対応

問 垂水中央中学校校内教育支援センターの現状、運営の課題と新しい取組について伺う。

答 昨年度設置したが、利用した生徒の中には希望する高校へ進学できた生徒、教室へ復帰し学校生活を送ることができるようになった生徒が増えた。一方、広範囲の通学状況にある本市において、スクールバスに乗れずに欠席が多くなってしまうという生徒がいる。課題に対する新しい取組として校内教育支援センターの機能強化で生徒の住む地域や家庭まで出向くアウトリーチ型の教育支援センターが提案され、サテライト教室を北部地区、中央地区、南部地区に設置する。サテライト教室は小中学校の不登校児童が利用できることもあり、学びの保障につながるものと期待している。

防災道の駅たるみずはまびらの役割

問 大隅地区唯一の防災道の駅として、道の駅たるみずはまびらの役割と観光振興の可能性について伺う。

答 防災道の駅は国土交通省が創設した制度で、一般的な道の駅の施設に加えて非常用電源や貯水槽などを備え、防災面の備えを強化しようとする役割を担う。大規模災害時の広域的な復旧・復興の活動拠点となる。また、観光振興の可能性としては、先進地の事例など調査研究等も行い、令和7年度に策定する垂水市観光振興計画策定業務において、防災道の駅たるみずはまびらがどのように活用できるのかを検討していきたい。

子どもの危機管理

問 現状、子どもを守るという立場として足りないのではないかと思うが、市長の見解を伺う。

答 いろいろな事案が発生したときに、何より大事なことは子どもの気持ち、保護者の気持ちである。総合的に判断しないといけない。事案があった際には、対象者と話をしながら対策を協議してきた。子どもの心のケアを中心に対応していくには連携が必要。しっかり対応していきたい。

【その他の質問】

- 契約保証不明金285万円時効後の対応
- 戦後80年を考える
- 女性の活躍推進
- 書かない窓口



感王寺 耕造 議員



パワーハラスメント対策を

問 過去5年間ににおける中途退職者数は、市職員20名、消防職員6名の計26名とのこと、退職理由は様々だと思うが、極めて大きな人材ロスだと考える。現在の苦情・相談窓口は市職員だけとなっており、相談しにくい環境であると感じるが、外部相談員を組み込むなど、より相談しやすい窓口づくりができないか見解を伺う。

答 【市長答弁】退職者に色々な理由はあると思うが、パワーハラスメント・セクシャルハラスメントを受けたとする人がいるとすれば、その人が相談しやすい仕組みづくりというのは大事なことで、提案いただいたことを参考にしながら、どうあるべきか、外部相談員も含めて、今後の体制というのは検討していくべきだというふうに思っている。

AIを活用した有害鳥獣対策を

問 近隣の鹿屋市では捕獲アプリの導入を行っているが、AIを活用した被害軽減の取組はないか伺う。ま

た、イノシシ捕獲のための電気止め刺し機の補助はできないか伺う。

答 有害鳥獣対策において、全国的に猟友会会員の減少や高齢化、過疎化による頭数の増加、分布の拡大による被害の深刻化が問題となっており、農作物などの被害軽減のため、AI、ICT技術を活用したイノシシやサルの出没箇所や捕獲情報の共有、まとめて捕獲できる鳥獣自動捕獲システムなどの導入が進められている。今後、AI、ICT技術を活用した有害鳥獣対策については、本市の課題や効果について、先進地などの事例を県や関係機関の協力をいただきながら、調査研究していきたいと考えている。

電気止め刺し機は、出血を伴わない、捕獲者や動物への負担が少なく、安全に適切に使用すれば、効率的な止め刺し方法となっており、垂水市猟友会会員の中には、けが防止のため、個人で電気止め刺し機を購入されている方もいるとお聞きしている。有害鳥獣捕獲に従事されている垂水市猟友会と協議して、対応していきたいと考えている。

【その他の質問】

- 桜島火山活動対策
- 公益通報制度
- 耕作放棄地・周辺環境の整備
- 出産のできる産婦人科不足

賛否が分かれた議案について (○：賛成、×：反対)

氏名 議案番号・議案件名	高橋 理枝子	宮迫 隆憲	前田 隆	新原 勇	池田 みずず	梅木 勇	堀内 貴志	川越 信男	篠原 静則	感王寺 耕造	持留 良一	北方 貞明	池山 節夫	川畑 三郎	○ 賛成	× 反対	審議結果
	議案第37号 令和7年度垂水市一般会計 補正予算(第1号)案	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	※議長のため表決には参加しない	○	○	11	1	原案可決

令和 7 年第 2 回定例会に提案された件名と結果一覧

番 号	件 名	内 容	審議結果
議 案 第 35 号	垂水市税条例の一部を改正する条例 案	令和 7 年度地方税制の改正に伴い、特定親族特別控除の創設等に係る条文を整理するもの	原案可決
議 案 第 36 号	垂水市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び垂水市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 案	家庭的保育事業者の連携施設確保の経過措置延長等の取扱いに係る改正	原案可決
議 案 第 37 号	令和 7 年度垂水市一般会計補正予算（第 1 号）案	国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に係る給付事業、道路改良工事等に係る増額	原案可決
議 案 第 38 号	令和 7 年度垂水市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）案	国民健康保険被保険者証の更新時の周知を図るためのリーフレット作成に係る増額	原案可決
議 案 第 39 号	垂水市報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例 案	国会議員の選挙等の執行経費の基準が改定されたことに伴い、選挙長等の報酬額を国の基準に基づき見直しを行うもの	原案可決
議 案 第 40 号	令和 7 年度垂水市一般会計補正予算（第 2 号）案	国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を受け、プレミアム付商品券事業等の増額	原案可決
陳 情 第 13 号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の陳情について	学習指導要領の内容を精選し、標準授業時数の削減を求めるもの	採 択
陳 情 第 14 号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	教職員定数改善の推進や複式学級の解消などの実現に向けた政府予算編成を求めるもの	採 択
陳 情 第 15 号	健康増進等に係る環境整備（垂水新港緑地帯）に係る陳情について	垂水新港緑地帯にウォーキング等の健康増進につながる環境の整備を求めるもの	採 択
意見書案 第 7 号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書 案	上記陳情第 13 号に係る意見書	原案可決
意見書案 第 8 号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書 案	上記陳情第 14 号に係る意見書	原案可決

全国市議会議長会 市議会議員表彰



第101回全国市議会議長会定期総会が開催され、本市議会から1名の方が特別表彰を授与されました。ここにご報告し、お喜びを申し上げます。



【10年表彰】

梅木 勇 議員

○初当選 平成27年4月26日【3期目】

○現垂水市議会副議長

産業厚生委員長・議会運営副委員長等を歴任

～ 議会の主な活動 ～

【令和7年6月～令和7年7月】

○6月23日（月） 鹿児島県環境保全協会肝属支部講演会（鹿屋市）

○6月24日（火） 大隅河川国道事務所国道要望（肝付町）

○6月26日（木） 観光協会通常総会（垂水市）

○7月3日（木）～7月4日（金）

小規模市ネットワーク議長会（宮崎県）

○7月4日（金） 桜島火山活動対策県庁要望（鹿児島市）



6/24 大隅河川国道事務所国道要望



7/9 森の駅たるみず安全祈願祭

○7月9日（水） 森の駅たるみず安全祈願祭（垂水市）

○7月11日（金） 九州地方整備局国道要望（福岡県）

○7月13日（日） 自衛隊家族会・協力会総会（垂水市）

○7月17日（木） 大隅経済地域開発推進協議会定期総会（鹿屋市）

○7月24日（木）～7月25日（金）

鹿児島県市議会議長会定期総会（枕崎市）

公営企業決算特別委員会

7月16日に公営企業決算特別委員会が開催され、次の3議案について審査されました。審査の結果、全議案、原案のとおり可決・認定されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。

令和6年度垂水市水道事業
会計剰余金の処分及び決算の
認定について

審査結果 剰余金の処分について
原案可決、決算の認定については認
定。

問 減債積立金4千万円の補填につ
いて伺う。

答 純利益の方を資金に積み立てる
部分であり、毎年4千万円ずつ組み
入れている。



問 排水設備工事費の工事請負7件
の箇所をすべて伺う。

答 市道垂水31号線、市道新城麓5
号線、市道垂水28号線、市道垂水9
号線、市道西比良・上ノ宮線が3工
区で分割して発注しているため合計
7件となっている。

令和6年度垂水市病院事業
会計決算の認定について

審査結果 適正であると認定

問 脳神経疾患の内科医が増員した
ことにより、外来患者数が増加した
とのことだが、どのくらい伺う。

答 脳神経内科医の方が他県の病院
からきており、内科も含めてである
が外来患者数が801人となっており、
影響があると考ええる。



令和6年度垂水市漁業集落
排水処理施設事業会計決算の
認定について

審査結果 適正であると認定



公営企業決算 特別委員会

委員長	池山 節夫
副委員長	新原 勇
委員	川畑 三郎
	篠原 静則
	池田 みずす
	高橋 理枝子

【特集 第6回】

垂水市魅力発見

たるみずふれあいフェスタ
夏祭り

暑中お見舞い申し上げます。
日頃から、本市議会へ格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
厳しい暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

毎年、夏の風物詩として、垂水市では『たるみず ふれあいフェスタ夏祭り』が開催されますが、多くの皆様に足を運んでいただくために、努力を重ねる皆さんがいますので紹介します。



中心となり運営する、商工会青年部部長 岩田圭さんに話を伺いました。

Q 開催に際して、思うことは？

A 商工会青年部を中心に、何カ月も前から成功に向けて準備をしています。時には壁にぶち当たり、落ち込むことも多々ありましたが、仲間の手助けや協力、なんといっても地元企業様の温かいご支援のお陰で、毎年成功できています。
誠にありがとうございます。

Q 今後の商工会青年部の活動は？

A 現在他にも、婚活パーティー、市内の美化活動、近隣青年部との意見交換会など、多くの活動を行っています。今の垂水市に何が出来来るのか？青年部の若さを活かした意見やアイデアを集約し、まだまだ視野を広げて活動していきたいと考えています。

しかし、青年部は45歳で引退となります。そのため、部員の確保が喫緊の課題です。

生まれ育った垂水市のため「力になりたい。頑張ってみよう」など思っていただけの方は是非、伝統ある垂水市商工会青年部で共に汗を流してみませんか？

電話 0994-3210225

〔宮迫 隆憲〕

市議会へ行こう

令和7年 第3回定例会会期日程（案）

月	火	水	木	金
9/1	2	3 本会議	4	5
8	9	10	11	12
15 敬老の日	16 一般質問	17 一般質問	18 産業厚生委員会	19 総務文教委員会
22	23 秋分の日	24	25	26 本会議

※本会議は、市役所3階の議会傍聴席にて傍聴できます。
（本議会の様子はライブ・録画配信をしていますので、インターネット中継をご覧ください。）
※委員会の傍聴は、事前に委員長の許可が必要です。
※請願等の受付締切日は、議会運営委員会前日の8月26日です。
※9月3日、9月26日の本会議は午前10時から、一般質問及び各委員会は午前9時30分からの開会予定です。
※日程は変更になる場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

日頃から議会だよりを愛読いただきましてありがとうございます。
本誌は年に4回行われる定例議会の内容を中心に議員の活動の様子をお知らせしております。

議会では市民の生活に密着した予算・決算をはじめ、あらゆることを議論、審査します。多くの市民の皆様

様の声を反映した議会となりますように、ご意見、ご感想、ご要望などありましたらお気軽にお問い合わせください。また定例会、常任委員会

の傍聴においていただくか、本誌やインターネットライブ中継、録画配信をご覧いただき情報を把握していただければ幸いです。

今議会では「定数等調査特別委員会」が立ち上がりました。議会改革も含めて議論いたします。議論の内容にご注目いただき、是非皆様のご意見をお聞かせください。

今年は梅雨も早々に終わり、猛暑による体調の変化、農林水産物の影響が心配です。自然災害への備えも意識して日々過ごしてまいりましょう。

〔高橋 理枝子〕